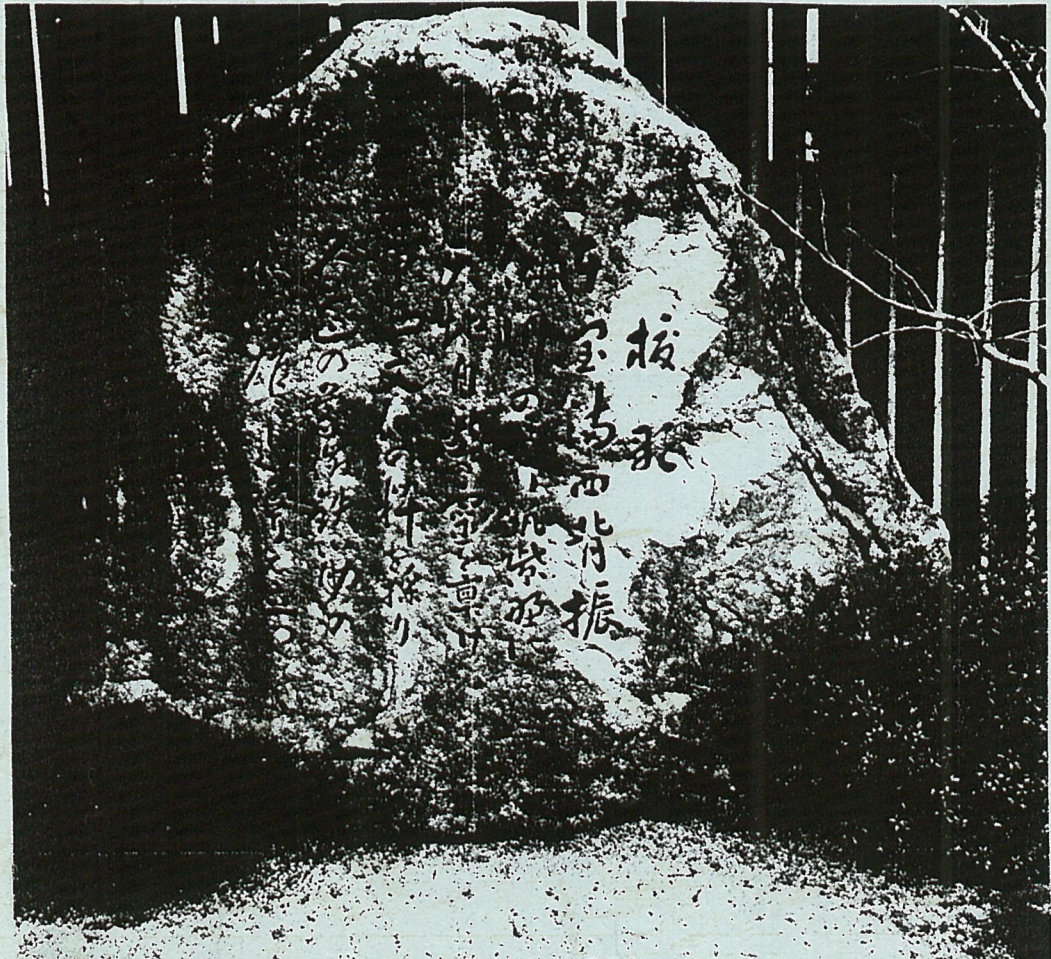
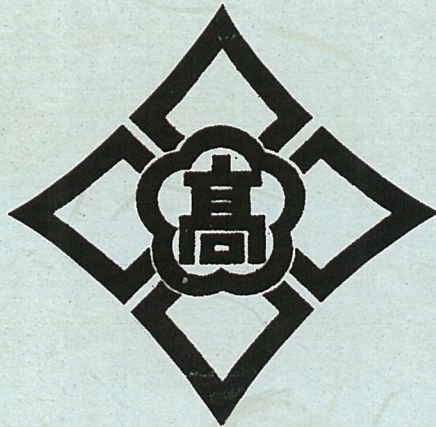


福岡県立筑紫丘高校同窓会関西支部

第13回親睦の集い！

と き／平成8年7月27日(土)

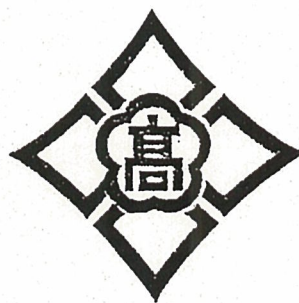
ところ／大阪梅田ホテル阪神



「関西支部」第13回親睦の集い！

資 料

日 時 平成8年7月27日（土曜日） 午後5：30～
場 所 大阪梅田ホテル阪神



1、目 次	1
1、出席者名 (中1～高11回卒)	2
" (高14～高48回卒)	3
1、プログラム (第1部 支部定期総会)	4
" (第2部 こんしんかい)	5
1、平成7年度 活 動 報 告	6
1、平成7年度 収支決算報告	7
1、 " 会計監査報告	7
1、平成8年度 活 動 計 画	8
1、校歌、筑中校歌、応援歌 歌詞	9
1、高校三年生、祝い目出度 歌詞	10

福岡県立筑紫丘高等学校同窓会
 (平成8年度)【関西支部 親睦の集い】 出席者名(敬称略)

筑紫丘高等学校 田中正行 第23代 振
 本部同窓会 加峯靖久 会長 (中14回卒)
 飛永堤 事務局長 (定中1回卒)
 山村由子 副会長 (高6回卒)
 江原義弘 副会長 (定高10回卒)

顕

昭和7年中1 原 要
 " 8 " 2 " (3)
 " 9 " 3 " (1)
 " 10 " 4 " (0)
 " 11 " 5 " (1)
 " 12 " 6 " (2) 石田 将夫
 " 13 " 7 " (2) 石塚 年
 " 14 " 8 " (3) 岡部 勇馬
 " 15 " 9 " (4) 高原 文雄
 " 16 " 10 " (1)
 " 17 " 11 " (3) 迫田 富男、中川 博司
 " 18 " 12 " (2)
 " 19 " 13 " (8)
 " 20 " 14 " (5)
 " 20 " 15 " (5)
 " 21 " 16 " (0)
 " 22 " 17 " (5)
 " 23 " 18 " (3) 高木 直助

小計 (50名) (40名送) 出席 8名 欠席 17名 転居 0名 無答 15名

昭和24年高1 安部 英敏、石原 友雄、米井 規
 " 25 " 2 " (7) 上畑 恵宣、小島 俊二、宮崎 博
 " 26 " 3 " (8) 田中 喜治
 " 27 " 4 " (7) 三木 和義、重富 政子、濱武 亮子
 " 28 " 5 " (18) 遠藤 勝行、高山 豊実、武田 武磨、友清 照雄、中田 富也
 " " 梁井 忠
 " 29 " 6 " (8) 永松 信夫
 " 30 " 7 " (12) 利倉 清司、森本 晃平
 " 31 " 8 " (15) 板橋 邦生、丹後 雄二
 " 32 " 9 " (10)
 " 33 " 10 " (13) 武末 郁雄
 " 34 " 11 " (28) 豊田 次朗、長野 良三、福本 幹雄、柳瀬 正宏

小計 (131名) (120名送) 出席 26名 欠席 31名 転居 2名 無答 61名

頁計 (181名) (160名送) 出席 34名 欠席 48名 転居 2名 無答 76名

昭和35年高12醉(19) 高橋信雄、丹後恭子
 "36年"13"(25) 今道文哉、大内洋友、田中民雄、播磨秀行、森山 勝
 宮崎湘子
 "37"14"(25) 温湯勝相
 "38"15"(25) 石 龍二
 "39"16"(16)
 "40"17"(25) 釜口喬一
 "41"18"(18)
 "42"19"(17) 小山敬子
 "43"20"(27) 小柳領典、中原勝一
 "44"21"(19) 篠原哲朗
 "45"22"(11) 宮原信義
 "46"23"(22) 橋本朝子
 "47"24"(14) 真栄田良雄
 "48"25"(15)
 "49"26"(18) 三船法行
 "50"27"(21) 松浦清、牟田和恵
 "51"28"(19) 岩見憲二、水落 均
 "52"29"(11)
 "53"30"(9) 近本伸吾
 "54"31"(16) 大坪治夫
 "55"32"(11)
 "56"33"(16)
 "57"34"(14)
 "58"35"(12)
 "59"36"(12)
 "60"37"(7)
 "61"38"(9)
 "62"39"(3)
 "63"40"(11) 井上信治
 平成元 "41"(6)
 "2"42"(2)
 "3"43"(不明)
 "4"44"(")
 "5"45"(")
 "6"46"(")
 "7"47"(")
 "8"48"(")

小計 (475名) (459名送) 出席 26名 欠席 65名 転居 8名 無回答 344名 転居先不明 15名 宛て所不明 1名

合計 (656名) (619名送) 出席 60名 欠席 113名 転居 10名 無回答 423名 転居先不明 15名 宛て所不明 1名

今回調査結果 (宛て所不明 1名、転居先不明 15名、転居先無支部 10名 計 26名)

WE LOVE 筑紫丘

がんばろう 関西支部!

第1部 支部定期総会

開会のことば 司会進行役 事務局 中田 富也(高5酔)

物故者追悼黙禱 禰崎 森山 長造氏(中4回卒) H7.12.17歿
禰崎 渡邊 浩氏(高5回卒) H8.6.28歿

支部長挨拶 支部長 宮崎 博(高2酔)

総会議案
[第1号] 平成7年度活動報告 事務局 中田 富也(高5酔)

[第2号] 平成7年度収支決算報告 (6) 副支部長 三木 和義(高4酔)

” 監査報告 (6) 監査役 米井 規(高1酔)

[第3号] 平成8年度活動計画 副支部長 武田 武麿(高5酔)

閉会のことば 副支部長 長野 良三(高11酔)

第2部 懇親会

飲んで 食って 歌って 暑気払い !

開会の挨拶とアシスタント紹介

司会進行役 福本 幹雄(高11回)
アシスタント (高 回)
アシスタント (高 回)

1、校歌斉唱 (丘の上に吾等唄ふ…)

2、同窓会々長挨拶

加 峯 靖 久 様 (中14回卒)

3、本校近況報告

田 中 正 行 様 (23代校長)

4、“喜寿”のお祝い

石田將夫様 渡辺徳熊様 (中6回)

5、来賓自己紹介

本部事務局長 飛 永 堤 様 (定中1回卒)
本部副会長 山 村 由 子 様 (高 6 回卒)
本部副会長 江 原 義 弘 様 (定高10回卒)

6、乾盃のご発声

名誉支部長 上 原 要(中1回)

(お食事とご歓談)

7、カラオケ大会

(希望者 5名~10名)

8、ゲームコーナー (ピンゴゲーム)

(全 員 参 加)

9、筑中校歌斉唱 (東宝満西育振…)

リ-ダ- 上 原 要(中1回)

10、応援歌大合唱 (囃け玄海の…)

リ-ダ- 松 浦 清(高27回)

11、祝い目出度 (祝いめでたの…)

リ-ダ- 米 井 規(高1回)

12、万歳三唱

本部事務局長 飛 永 堤 様

13、結びの挨拶

副支部長 武 田 武 磨(高5回)

活 動 報 告

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

◎ 阪神淡路大震災 会員の安否確認・近況確認 往復ハガキによる調査 平成7年4月8日～
--

- 役員会
平成7年4月15日(土) 井上工業[㈱]大阪支店会議室 出 席 3名
- 第1回常任幹事会
平成7年5月27日(土) 井上工業[㈱]神戸営業所会議室 出 席 12名
- 第2回常任幹事会
平成7年9月9日(土) 井上工業[㈱]神戸営業所会議室 出 席 7名
- 第3回常任幹事会
平成7年10月14日(土) 井上工業[㈱]神戸営業所会議室 出 席 8名

◎ 関西支部第12回親睦の集い 平成7年10月28日(土) 新阪急ホテル花の間 来賓3名 会員参加 82名
--

- 筑紫丘高校同窓会会報 新聞発送
平成7年12月末日～




福岡県立筑紫丘高等学校同窓会関西支部
平成7年度 収支決算報告書

自：平成7年4月1日 至：平成8年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	420,055	前年度より繰越	会議費	23,901	幹事会他
年会費	366,000	2,000 × 183名	通信費	153,110	災害見舞状送料 他
定期総会 会費	560,000	8,000 × 70名	印刷費	27,310	はがき、封筒等
本部祝儀	100,000		事務用品費	25,058	ワープロ用紙 他
カンパ金	5,000		広告費	40,000	同窓会本部
小計	665,000		定期総会費	736,670	新阪急ホテル 他 平成7年10月28日
寄付金	324,000		振込手数料	6,840	年会費振込料 ¥60 × 114名
預金利息	284	郵便貯金利子	次期繰越金	762,450	郵便金 305,680 現金 456,770
合計	1,775,339		合計	1,775,339	


上記の通り報告致します。

平成8年3月31日

筑紫丘高校同窓会関西支部 支部長 **宮崎 博** 
 会計 **三木 和義** 
 " **今道 文哉** 

監査報告書

上記収支報告書を厳正に監査の結果適正なものと認めます。

監査役 **米井 規** 

平成8年3月31日

(平成8年度)活動計画

観劇会

40周年

永遠の夫婦の絆を描く今秋一番、注目の名舞台!

劇場「飛天」11月特別公演

東宝提携 製作東宝 劇場飛天

真淑な人妻・お種にしのおびよる暗い運命の震動

波の鼓

近松門左衛門Ⅱ原作「堀川波鼓」より

大藪 郁子Ⅱ脚本
石井ふく子Ⅱ演出

死してなお、我ら共に夫婦なり……

無取組下小倉彦九郎、お種の夫婦は、幼少からあり三人の夫婦は夫も接しはさめたるお種の実弟、文六を婿養子にして、お種は彦九郎の出世が面白くない。文六は鼓を習っており、彦九郎は「文六と一緒に鼓を稽古し楽しさを知らせたら……」という、江戸へ向かった。満開の桜の下、お種は文六から鼓の師匠、源右衛門を紹介される。源右衛門はお種の美しさに魅了され、お種も源右衛門の正な姿に好感を覚える。月の美しい夜、江戸の夫を思い鼓を打つ。鼓の音に吸いよせられるように、源右衛門が訪れる。鼓の稽古が白熱し、その寄せては返す波のような音の拍動、源右衛門の姿が夫・彦九郎と重なりあい、二を錯同してしまうお種。運命の良ししかい機のないこの場を、彦九郎の姉・ゆらに見られてしまう。ゆらは源右衛門に思い寄せていた。そこから、悲劇が起る。

お種、夫の彦九郎が戻ってくる。思いお種、ゆらの密告で親族会議が開かれ、彦九郎は、ゆらに「なぜその前にこのように言ってくれなかった」とゆらをしかる

砂浜。彦九郎と源右衛門の対決。彦九郎源右衛門を討ち、お種を船に乗せ、ひとす乳母の姿を密告を隠すようにというのうえて、お種は夫の恩情に感謝して、その命を絶つ……



■小倉彦九郎 竹脇 無我



■宮地源右衛門 中村 翫雀



■お種 中田 喜子



■お種 佐久間 良子

製作 川口祥吉

■ 筑紫丘高校 校歌

作詞 高木市之助
作曲 信時 潔

一 丘のへに 吾等偲のぶ
遥々と 筑紫国原
思ひ出の 夢は遠し
民族の 歴史にないて
日本を いざ護らむ

二 丘のへに 吾等立てば
碧空の 港の彼方
盛り上る 大きみやこ
東西の 文化まなびて
日本を いざ開かむ

三 丘のへに 吾等わかし
高校の 吾等わかし
若うどぞ ここに集う
健やかに さとく正しく
日本を いざ創くらむ

■ 筑中校歌

作詞 生田徳太郎
作曲 片山顕太郎

一 東宝満 西背振
灘川のほとり筑紫野に
天地自然の霊をうけ
東西文化の粹を採り
久遠のしるし鉄筋の
校舎は雄々しくそびえ立つ

二 尊きみのり かしこみつ
末日の本の中堅と
重き使命を身に負ひて
誠実剛健ひたぶるに
文武両道いそしむや
健兒一千 意気たかし

三 質素勤勉 わが誇り
顕正破邪ぞわがおきて
寒暑辛酸何かある
百練千磨の心身に
切磋琢磨の功つめば
前途希望の 光満つ

■ 応援歌

一 聴け玄海の 波洗う
その名も古き 筑紫野に
久遠の幸を ことほぎて
新たに立てる 我等こそ
栄ある歴史 飾らんと
胸とどろかす 健兒かな

二 栄ある友よ 若き日の
進取の意気に 奮い立ち
覇業めざして ひたぶるに
鍛えし腕に 名をこめて
千里の道に むちあてん
奮え筑高 健兒かな

■ 高校二三年生

(昭和三十七年)

作詞 丘 灯至夫
作曲 遠藤 実

一 赤い夕陽が 校舎をそめて

二レの木陰に はずむ声
ああ高校三年生 ぼくら
離れ離れになろうとも
クラス仲間は いつまでも

二 泣いた日もある 怨んだことも

思いだすだろ なつかしく
ああ高校三年生 ぼくら
フオークダンスの手を取れば
甘く匂うよ 黒髪が

三 残り少ない 日数を胸に

夢がはばたく 遠い空に
ああ高校三年生 ぼくら
道はそれそれ別れても
越えて歌おう この歌を

■ 祝い目出度

(福岡県民謡)

一 祝い目出度の 若松さまよ

若松さまよ
枝も栄ゆりや 葉もしげる

エーイシヨエーエー

エーイシヨエーエー

シヨエーハア シヨエー
「アレワイサソ エサソエーエー」
シヨエーガネ

二 こちの座敷は 祝いの座敷

祝いの座敷
鶴と亀とが 舞いあそぶ

(お囃 繰り返し)

三 さても見事な 櫛田のぎなん

櫛田のぎなん
枝も栄ゆりや 葉もしげる

(お囃 繰り返し)

